

2021-2022 年冬期の札幌都市圏における大雪について（その5）

— 札幌市における大雪下での冬道転倒による救急搬送状況 —

Pedestrian's Slip and Fall Accident in Sapporo during 2021-22 winter (Part 5)

永田 泰浩¹, 金田 安弘¹

Yasuhiro Nagata¹, Yasuhiro Kaneda¹

Corresponding author: nagata@decnet.or.jp (Y. Nagata)

大雪に見舞われた 2021 年度冬期の札幌市では、冬道での転倒による救急搬送者数が 2012 年度冬期に次いで 2 番目の多さとなり、2022 年 1 月と 2022 年 2 月は月の救急搬送者数の最多記録を更新した。救急搬送者データと気象データを分析した結果、2022 年 1 月は中旬に暖かい日が続き、その後冷え込んだこと、2 月は大雪によって歩きづらい路面が市内で多発したことが、救急搬送の多発に影響した可能性が考えられた。

1. はじめに

ウインターライフ推進協議会の事務局を務める当センターでは、これまで、札幌市消防局との連携により、札幌市における冬道での転倒による救急搬送者について整理、分析を行い、転倒予防のための啓発活動を行ってきた。

2021 年度冬期（以後“12 月～3 月”を冬期とする）の札幌都市圏は大雪に見舞われ、特に 1 月から 2 月にかけて、度重なる降雪により車道や歩道の除雪作業が追いつかない状況となった。こうした大雪による影響を把握するため、札幌市消防局の冬道での転倒による救急搬送者データ（速報版）の分析を行った。

2. 2021 年度冬期の救急搬送状況の特徴

2021 年度冬期の札幌市における冬道での転倒による救急搬送者数は、速報データでも 1280 人を上回っており、2012 年度冬期の 1317 人に次い

で 2 番目の多さとなった。図 1 には、詳細なデータが残る 1996 年度から 2021 年度までの 26 冬の月別救急搬送者数を示した。2021 年度冬期の 2022 年 1 月と 2022 年 2 月は、それぞれの月救急搬送者が過去 26 冬期で最多となった。

2. 1. 2022 年 1 月の救急搬送の多発について

2022 年 1 月の日救急搬送者数と毎時の気温、降雪量の経過を図 2 に示した。1 月は 11 日から 17 日までの 7 日間、この時期としては珍しく、昼夜を問わず気温が 0°C 以上となることが多かった。降雪も記録されており、湿った降雪があったと考えられる。一方、17 日の午後からは気温が急激に低下し、17 日から 21 日にかけては、朝夕の冷え込みが厳しかった。17 日から 20 日までは、毎日 30 人以上が救急搬送されており、4 日間で 148 人が救急搬送されていた。気温の高い状態が続いた後の急激な冷え込みにより、滑りやすい氷

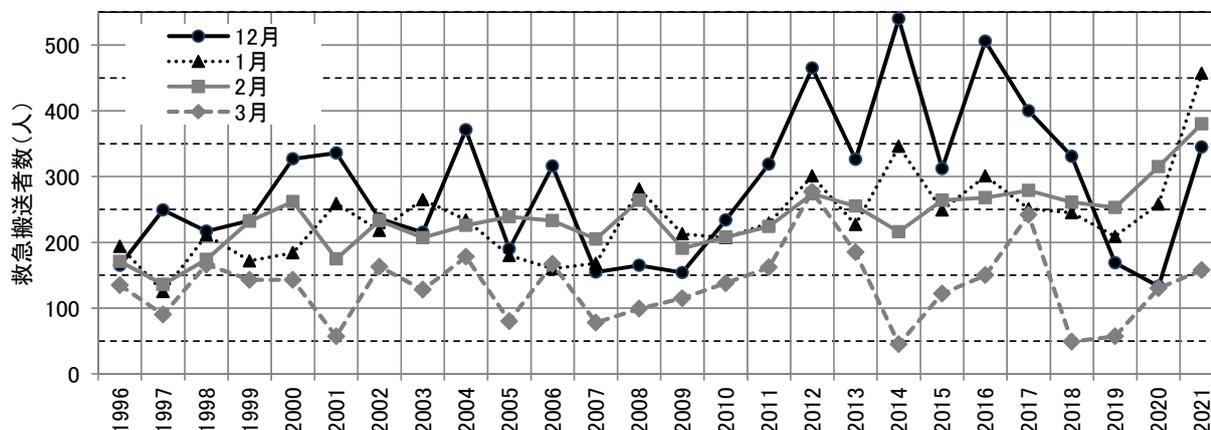


図 1 1996 年度冬期から 2021 年度冬期までの月別救急搬送者数

¹ 一般社団法人 北海道開発技術センター

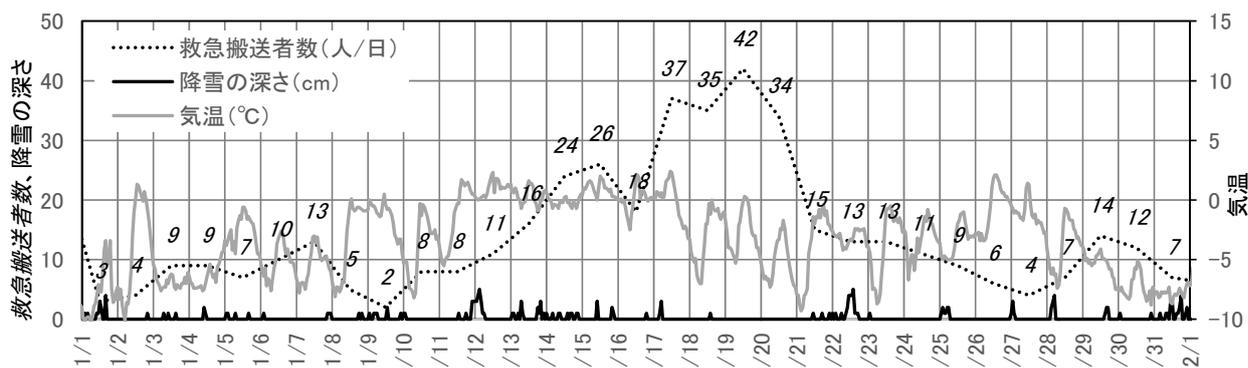


図2 2022年1月の日救急搬送者数と気温および降雪の深さの経過

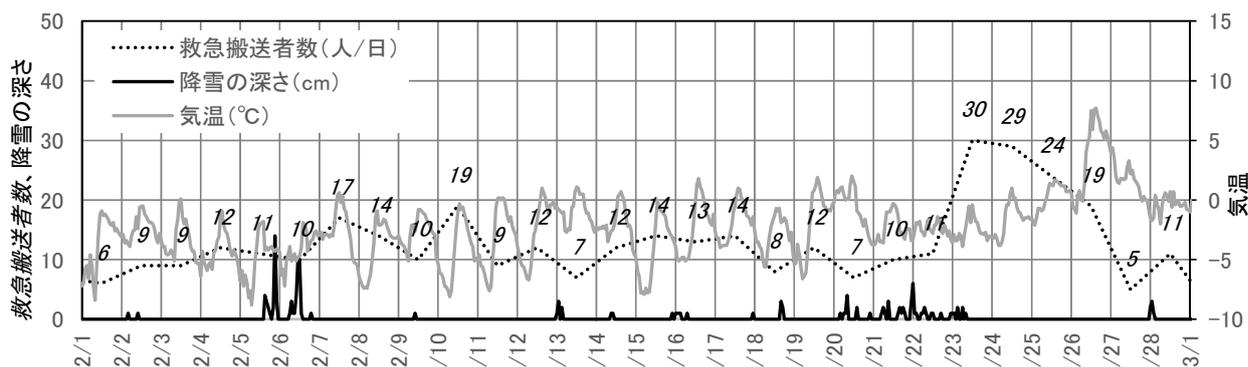


図3 2022年2月の日救急搬送者数と気温および降雪の深さの経過

化した路面が発生したことが、救急搬送者多発の一因と考えられる。

2. 2022年2月の救急搬送の多発について

2022年2月の日救急搬送者数と毎時の気温、降雪量の経過を図3に示した。2月は23日が30人、24日が29人、25日が24人であったが、他に20人に達した日はなかった。市内の積雪量が50cm増加した2月5日～6日の大雪時や大雪後も救急搬送者数はあまり増加していない。一方、図2に示した1月と比較すると、日救急搬送者数が一桁となった日が少ないことがわかった。

過去26冬期から、2022年2月と同様に月の救急搬送者が300～400人に達した月を抽出し、1ヵ月のうち日搬送者数が10人以上に達した日の

割合を図4に示した。2022年2月は10人以上の日の割合が71%であり、過去にない頻度であった。2022年2月は、極端に救急搬送者が多い日はなかったものの、2月6日の大雪後は毎日のように10人以上が救急搬送されていた。歩道の凹凸や歩車道の段差が大量に発生し、除雪作業が追いつかない状況もあって、あちこちで歩きづらい路面が発生したことが影響した可能性がある。

3. まとめ

2021年度冬期は1月と2月の救急搬送者が過去26冬期で最多となった。1月は中旬に暖かい日が続き、その後冷え込んだこと、2月は大雪によって歩きづらい路面が市内で多発したことが、転倒による救急搬送の多発に影響したことが考えられる。今後は詳細データを用いて、地域別の救急搬送発生状況などの分析を予定している。

【謝辞】

救急搬送者データをご提供いただいた札幌市消防局様に深く御礼を申し上げます。

【参考文献】

- 1) 永田泰浩, 金田安弘: 札幌市における冬道での自己転倒による救急搬送の特徴分析, 雪氷研究大会 (2021・千葉) 講演要旨集

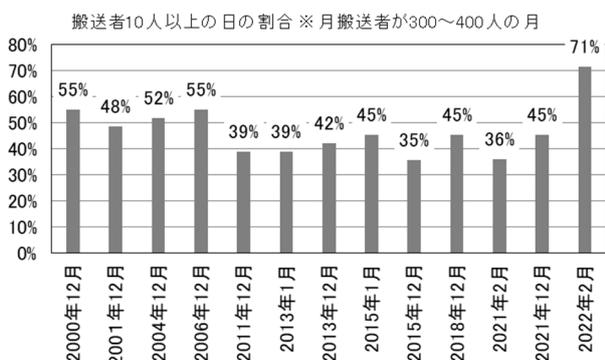


図4 救急搬送者が10名以上の日の割合